

～教養学科部局活性化事業～

公開講座

「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』が誕生するまで」

～チェロ・ソナタ第3番を通じたの考察～

講師：鈴木秀美

ピアノ：佐野まり子（本学非常勤講師）

2015年7月1日（水） 13:00～ K-201

鈴木秀美 プロフィール

神戸生まれ。チェロを井上頼豊、安田謙一郎ほか諸氏に、指揮を尾高忠明、秋山和慶に師事。第48回音楽コンクール第1位、第27回海外派遣コンクール特別表彰。84年文化庁在外研修員としてデン・ハーグ王立音楽院に留学、アンナー・ビルスマに師事する。86年にパリで行われた第1回バロック・チェロ・コンクールでは2、3位なしの第1位。85年から93年までの間、フランス・ブリュッヘン率いる「18世紀オーケストラ」に在籍。86年から2001年2月まで シギスヴァルト・クイケン率いる「ラ・プティット・バンド」のメンバー、92年からは首席奏者として活躍した。鈴木雅明の主宰する「バッハ・コレギウム・ジャパン」では創立以来首席チェロ奏者を務めている。94年に新設されたブリュッセル王立音楽院バロック・チェロ科に教授として招聘され、2000年に日本へ帰国するまで務めた。91年の《バッハ／無伴奏チェロ組曲全曲》日本全国ツアーにより、同年度の村松賞大賞を受賞。録音では、平成7年度文化庁芸術作品賞を受賞し、1998年には第36回レコード・アカデミー賞（協奏曲部門）を、また2000年にはフランスのディアパゾン金賞を受賞した。06年文化庁芸術祭優秀賞受賞。2001年に古典派を専門とするオーケストラ・リベラ・クラシカを結成して指揮活動を本格化させ、ポーランド、ベトナム、ニュージーランド、名古屋フィルハーモニー、山形交響楽団への客演指揮も好評を博している。著書に「無伴奏チェロ組曲」（東京書籍）、「『古楽器』よ、さらば！」（音楽之友社）、「ガット・カフェ」（東京書籍）がある。日本音楽コンクールの審査員の他、ライプツィヒ国際バッハ・コンクールの審査員も務める。第37回サントリー音楽賞受賞。2011年11月、第10回斎藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。東京藝術大学古楽科非常勤講師。山形交響楽団首席客演指揮者。